令和５年度　はばたき学習（総合的な学習の時間）実践・研究計画

部　員	○稲垣　勇介、柴田　省吾、井上　駿太、山田　幹

研究テーマ
自ら見いだした課題について、よりよい方法を用いて探究し、
自分にとっての答えとしての概念をつくり出していく子どもを育む学び

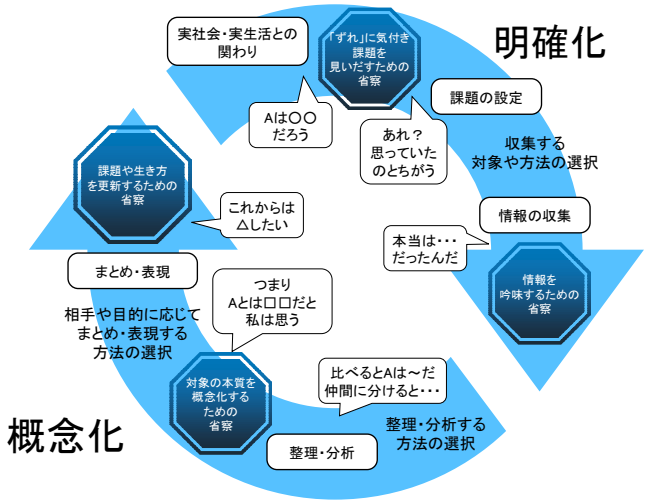
1　研究テーマについて

昨年度までの実践で、探究的なスパイラルの中で、「比較」「分類」「順序付け」「理由付け」などの考えるための技法を活用しながら、分かったことを自分の言葉で意味付けしていくことで“自分にとっての答え”としての概念を形成していく子どもの姿が見られた。しかし、現時点で形成した概念を基に、新たに探究の見通しをもったり他者から得たい情報を焦点化したりしていくことには課題が見られた。

こうした成果と課題を踏まえ、はばたき学習部の研究テーマは今年度も継続していくこととし、子どもが自分の言葉で表現したものを基に、一人一人の学びの道筋を見取り、新たな探究の方向を見いだす支援をしていく。

はばたき学習で目指す自律した子どもの姿
・「人・もの・こと」と関わりながら、予想や理想、思い込みと現実との「ずれ」に気付き、自ら課題を見いだす姿
・よりよい方法や視点を用いて探究する中で対象を明確に捉えていく姿
・対象や解決方法について学んだことを自分の言葉で意味付け、次の学びに活かす姿

新たな探究の見通しをもつことについて、現時点で形成している概念から納得できた点と問題点を自覚できるようにすることで、自覚した問題点から今後の探究の方向性を見いだせるような手立てを講じていく。さらに、概念形成した学習対象との関わりの中で得た達成感を振り返ることで、学ぶ有用性を味わい探究する意味や価値を見いだすことにつながるだろう。



図：はばたき学習　自律した学習者を育てる学習のプロセス

得たい情報の焦点化については、誰のどのような考えに影響を受けたかを明確化できるようにすることで、追究したい分野の焦点化を図り、他者の考えを生かして新たな概念を形成する協働的な探究のよさを見いだすこともできるように単元構想を工夫する。

2　研究の重点　〈○は具体的な取組の例〉

探究する意味や価値、協働的に探究するよさを見いだしながら、新たな探究に向かっていくための支援の工夫

○現時点で形成した概念から得た納得できる点と問題点を自覚するための視点を獲得できるように、考えるための技法を活用した概念共有の場を設定する。
○影響を受けた考えを明確化して追究したい分野を焦点化するために、効果的な思考ツールやＩＣＴ機器の活用ができるような単元構想の工夫をする。

令和５年度　**はばたき学習（総合的な学習の時間）全体計画**

秋田大学教育文化学部附属小学校

子どもの実態　教師の願い　教育課題　保護者の願い

学校教育目標
「自律」

のびのび　きびきび　わくわく

研究主題
自律した学習者を育てる

めざす子ども像
「自律」する子ども

☆思いやりの心をもち，互いのよさを認め合って高まろうとする子ども
☆自分で判断して，正しい行動をつらぬく子ども
☆心身ともに健康で生き生きと活動する子ども
☆学ぶ楽しさを見いだし，よりよいものを求めて工夫する子ども
☆自分の可能性を信じ，挑戦する子ども

はばたき学習
○身近なひと・もの・こととのかかわりを通して見いだした課題の解決を通して，必要な知識や技能を身に付けることができるようにする。
○課題を見つけ，よりよい解決方法を求めながら追究し，自分の考えを効果的に表現する力を身に付ける。
○自己や仲間・社会を見つめ，その向上のために進んでかかわり，はたらきかけようとする態度を育てる。

〈各教科〉課題解決の方法・協働して学ぶ力など学び方の基礎を身に付ける。

はばたき学習　研究テーマ
自ら見いだした課題について，よりよい方法を用いて探究し，
自分にとっての答えとしての概念をつくり出していく子どもを育む学び

◇育てたい資質・能力
Ａ　問題発見能力（対象へのこだわりをもってかかわる資質・能力）
Ｂ　状況知・方法知（場面やフィールドに応じてかかわる資質・能力）
Ｃ　実践力・実行力
（自己や周囲の向上のためにはたらきかけながらかかわる資質・能力）
Ｄ　生き方・考え方（生活，価値観，人生観への反映）

◇研究の重点
(1)　探究的な学習の過程で用いる「見方・考え方」を選択し，自覚的に用いる力を高める学習活動の設定
(2)　探究的な学習過程の質を高める効果的な省察の場を位置付けた単元構成の

	各学年の活動 （特に育てたい資質・能力）	探究課題	学習事項
３年	・笑顔いっぱいのまち秋田市のたからもの （Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ）	・商店街の活性化に努力する人々	・商店街の活性化に向けて努力する人々の思い（創意） ・地域の一員として地域の活性化にかかわろうとする活動や取組（参加）
４年	・きらり　みんなの笑顔があふれるまちⅡ～みんなが笑顔になるためによりよいかかわり合いを求めて～　（Ａ，Ｂ） ・ありがとうを伝えようⅠ～今までの自分そして未来へ　（Ｃ，Ｄ）	・くらしを支援する仕組みや身体の不自由な人々 ・自分を支えてくれた人々	・みんなとよりよい関わり方ができるようになるために自分たちが大切にしたいこと（多様性） ・自分自身の成長と支えてくれた人への感謝（成長）
５年	・きらり　みんなの笑顔があふれるまちⅢ～働くってどんなこと？～　（Ａ，Ｂ） ・ありがとうを伝えようⅡ　（Ｃ，Ｄ）	・将来への展望と地域で働く人々 ・自分の役割と成長	・地域で働く人の存在と働くことの意味（勤労） ・自分自身のよさへの気付きと将来への展望　（個性）
６年	・きらり　みんなの笑顔があふれるまちⅣ～ふるさと秋田再発見～　（Ａ，Ｂ） ・ありがとうを伝えようⅢ　（Ｃ，Ｄ）	・地域のよさを守り，それを活かす人々 ・社会の一員としての役割	・地域の伝統や文化のもつ特徴（郷土） ・互いのよさを生かし，共によりよく生きていこうとする活動や取組（共生）

〈道徳〉共感的な語り合いの中で他者を受け入れ、自分を見付ける。

＜特別活動＞仲間との学校生活の充実と向上を目指した学びを積み重ねる。

＜キャリア教育＞仲間と自己を見つめ，自立に必要な意欲・態度や能力を育てる。